

ふれあい

第 79 号

社会福祉法人
三川町社会福祉協議会

〒997-1301
山形県東田川郡三川町大字横山字西田85-2
(三川町社会福祉センター内)
電 話 (0235) 66-4410
F A X (0235) 66-4539
ホームページ <https://www.mi-shakyo.or.jp>



元気教室

7月15日(水)、予定より1カ月遅れての開講となりましたが、参加者の皆さんは元気いっぱい活動しています。ソーシャルディスタンスを保ちながら身体と脳をトレーニングして、楽しみながら生活機能の維持、向上を目指します。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。

対策を取りながら事業再開!!

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休止していた事業が、少しずつ再開しています。感染予防対策を講じながら、人との交流が途絶えないよう、孤立しないよう、新しい生活様式に沿った開催を心がけています。

筋カトレーニング教室



全コースとも6月から広い会場で再開。参加者さんにも協力してもらい、使ったイスや運動器具は終了後に消毒しています。(写真は「はつらつコース」)

楽しく貯筋塾



8月6日から第1クール開催。

一人暮らし高齢者 会食交流会



6月から再開。参加者同士の距離が保てるように机やイスの配置を広く変更しています。

ふれあい弁当 調理ボランティア



9月9日から再開。調理自粛期間中は業者弁当を配達していました。利用者の皆さんは温かい手作り弁当を待ち望んでいました。

ふれあい広場



9月2日から再開。密集を避けるために、事前申し込みによる定員を設ける形に変更。当面の間はお昼までで終わります。

各事業ともに、マスク着用、出入り口での手指消毒、検温、定期的な換気などを行い、近距離での会話や発声、大声で歌うことなどを避けています。ふれあい弁当の配達ボランティアでは利用者への感染防止のために、消毒スプレーを1人1本ずつ持参して手指消毒をしながら配達をしています。



押切下町 『なごやかサロンドカフェ』 齋藤悦子

押切下町町内会の人なら、老若男女問わず誰でも気軽に集まり、お茶を飲みながら楽しくおしゃべりしましょう！友達になりましょう！と、平成28年10月に「なごやかサロンドカフェ」を初めて開催しました。町内会やキラバンメイトの皆さん、キーパーソンの皆さんの協力を頂き、これまでたくさんの方の企画を考えてきました。体操や物作り、昔語りや健康講話、クリスマス会やひな祭りなどのお楽しみ会も取り入れ、集まった皆さんに「参加してよかった」と喜んでもらえるようにと活動を続けて、今年で4年になりました。



りのサロンでは、庄内ヤクルト販売の「健康教室」を開催し、お腹(腸)の色々な働きについて楽しいクイズ形式で盛り上がりました。その後、お菓子とコーヒーとおしゃべりで、「なごやかな花が咲きました。」

今はキーパーソン3名とボランティア数名の協力で頑張っています。男性の参加者が少なくなっています。サロンを始めた頃は5〜6名の参加がありました。今は1〜2名になっています。また、若い方の参加や後継者の育成についても悩んでいるところです。このような課題と向き合いつつ、参加者の笑顔と「楽しかった」の声を励みに、このサロンドカフェを自分たちも楽しんで続けていきたいと思います。



三川町ボランティア連絡協議会 会員研修会

9月11日(金)、三川町子育て交流施設「テオトル」を会場に三川町ボランティア連絡協議会会員研修会を開催しました。この連絡協議会は、三川町内で活動している9つのボランティアグループによる福祉団体で、社会福祉、青少年育成、地域づくり、防災など多様なボランティア活動の発展のために活動しています。

研修会には28名が参加し、7月1日にオープンしたテオトルの見学を行いました。密にならないようにグループに分かれて、館内の明るさや設備の充実さに感心しながら、三つのエリアを職員の方から案内していただきました。

次に、曹洞宗山形県第三宗務所の方々の法話と人形劇を楽しみました。庄内にある曹洞宗のお寺の若い住職さんたちが、法話や人形劇などを通して、子どもからお年寄りまで多くの方々に触れ合い、仏教の教えにも触れながらお寺を身近に感じてもらうための活動をされています。今回は、6名の住職さんによる「三枚のお札」の人形劇を披露していただきました。住職さんならではの迫力のあるセ

リフと巧みな人形操作によって、物語にぐいぐい引き込まれ、人形からの問いかけに元気に答えてくれる会員もいました。住職さんたちの頑張っている姿は、日頃の自分たちのボランティア活動と共通する思い「みなさんに元気を届けたい」を感じられ、最後は胸が温かくなりました。

会食とビンゴゲーム大会を楽しみ、他のボランティアグループの方とも交流を図ることができ、楽しく、笑顔になれる活動をして行こうと再確認することができました。





10月1日～12月31日

今年も赤い羽根共同募金運動がはじまりました

令和2年度 三川町の目標額は2,571,000円です

地域のさまざまな福祉活動やボランティア活動を支えるために、皆様からの募金協力（1世帯あたり1,300円）をよろしくお願い申し上げます。

なお、納入通知書による納入方法をとらせていただきますが、口座振替での募金を希望する世帯からは、三川町社会福祉協議会会費と同じ指定口座から振り替えさせていただきますので、ご了承さるようお願いいたします。

（納入受付窓口：庄内たがわ農協・荘内銀行・山形銀行・鶴岡信用金庫・きらやか銀行・社会福祉協議会窓口・役場会計課）



12個の間違探し



抽選で正解者10名の方に記念品を差し上げます。
ハガキに答え・住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、「〒997-1301 三川町横山字西田85-2 三川町社会福祉センター宛」にお送り下さい。

10月26日 必着

令和元年度 赤い羽根共同募金三川町への配分金 1,571,278円

みなさまから寄せられた寄付金はこのように三川町の福祉活動事業に役立たせていただきました

◆老人福祉活動費 …… 28%

- 高齢者生きがい支援事業 ●筋力トレーニング事業
- ミニサロン事業 ●おでかけ会事業

◆福祉育成援助活動費 …… 46%

- 広報発行等 ●小地域ネットワーク推進事業
- 緊急連絡カード作成 ●ホームページ作成

◆児童・青少年福祉活動費 …… 17%

- ふるさと少年教室事業 ●町内会遊具安全点検経費補助事業

◆ボランティア活動育成事業費 …… 5%

- ボランティア育成事業 ●街頭募金ボランティア活動

◆母子父子福祉活動費 …… 2%

- 社会参加交流事業等

◆障がい児・者福祉活動費 …… 2%

- スポーツ大会 ●社会参加交流会等



筋力トレーニング ゆったりコース



ふるさと少年教室